

読者が12月末の相場予想を競う円・ドルダービーと日経平均ダービーの締め切りが11月30日に迫った。上昇が続く米国株の行方などを専門家に聞いた。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券の植野大作氏は12月14日(15日)に開催予定の米連邦公開市場委員会(FOMC)を、為替相場の注目点に挙げる。11月の会合で量的緩和の縮小が決まり、市場の関心は「利上げが始まるかに移っている」。

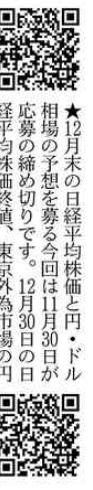
植野氏は12月のFOMCで更新される委員による政策金利の見通しに着目する。9月時点では2022年末までの利上げを見込む派と見込まない派が拮抗していた。植野氏は「利上げ派が優位になればドル高、見通しに変更がなければドル安に振れるだろう」と解説する。

原油や金属など商品相場も焦点となる。植野氏は「商品価格の上昇が続けば日本の貿易赤字が拡大する懸念から、円安圧力が強まる」と話していた。

株式相場を見る上でも物価上昇はポイントとなる。ソニー・インシャルグループの渡辺浩志氏は「利上げ見通しの前倒しやインフレ懸念により長期金利が急騰し、株価が急落する場面もありそうだ」と指摘する。

一方、米長期金利は2%未満と低水準が続く。渡辺氏は「低金利下では実物資産への資金流入が続くため、米国の株高に連動した日本株の上昇基調も続く」と見込んでいる。詳細は電子版に▼マネーのまなび▼コラムに日経平均・円・ドルダービー

★12月末の日経平均株価と円・ドル相場の予想を募る今回は11月30日が応募の締め切りです。12月30日の日経平均株価終値、東京外為市場の円・ドル相場(午後5時の終値、値幅の左側の数字)を予想してください。QRコード(上が日経平均、下が円・ドル)と電子版から応募できます。応募には日経IDが必要です。1人1予想に限り、複数応募や記入漏れは失格になります。



★12月末の日経平均株価と円・ドル相場の予想を募る今回は11月30日が応募の締め切りです。12月30日の日経平均株価終値、東京外為市場の円・ドル相場(午後5時の終値、値幅の左側の数字)を予想してください。QRコード(上が日経平均、下が円・ドル)と電子版から応募できます。応募には日経IDが必要です。1人1予想に限り、複数応募や記入漏れは失格になります。